

はあもに *Harmony*

Vol.14
2024年9月発行



あなたにとっての社会正義は何ですか？

救世軍万国社会正義委員会
国連女性の地位委員会

家族のことを祈る時

「何事も心配しないで、どんな時でも祈りなさい」

メリッサ・テンプルマン・トゥエルズ

きずな献金

ミャンマーから「ありがとう」が届きました



To Women, For Women, and By Women



平和を実現する人々は、
幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書5章9節

BLESSED are the
PEACEMAKERS, for
they will be called
CHILDREN OF GOD.

Matthew 5:9
New International Version

はあもに

第14号 もくじ

同じ世界に生きていても
私たちは皆が平等というわけではない
置かれている場所も環境も違うから
価値観も当然違う
誰かにとっての正しさが
他の人にとっての正しさとは限らない

だから、神様は、
愛ですべてを包み込もうと
なさったのかもしれない

あなたも私も愛されている
それがあればきっと
今日も生きていける

はあもに
Harmony

- 4 **あなたにとっての社会正義は何ですか？**
救世軍万国社会正義委員会
国連女性の地位委員会
- 10 **地域に扉をひらいて**
救世軍遠軽小隊
もしバナ体験会/キッズ・カフェ モグハグ
- 12 **ばいぶるメッセージ**
聖書 この真実の世界
三澤良子
- 14 **第2回 認知症を知る**
ブース記念病院 認知症看護認定看護師
楠元陽子
- 16 **いのりのじかん**
家族のことを祈る時
メリッサ・テンブルマン・トゥエルズ
- 18 **はあもにのおしらせ**
きずな献金2023 ミャンマープロジェクト
ミャンマーから「ありがとう」が届きました
きずな献金2024 香港プロジェクト

救世軍の万国社会正義委員会 (International Social Justice Commission※1) は、いくつかの活動グループをもちますが、そのうちの一つに女性グループ (Women's Group)があります。世界各地の救世軍から女性たちが参加し、女性たちが苦しむジェンダー問題について話し合っています。国連女性の地位委員会 (Commission of the Status of Women※2、8ページ参照)と深く関わりながら、1年間、女性たちは互いに学び、世界に向けて発信します。

2023年8月から、日本の代表者として浅野友梨香さんが女性グループに参加しました。グループの学びや「国連女性の地位委員会フォーラム」を通して、社会正義についてどのように考えたのかを浅野さんに共有していただきながら、一緒に社会正義について考えていきましょう。



浅野友梨香 Yurika Asano
1990年代の生まれ。祖父と母親の影響でクリスチャンになり、救世軍横浜小隊 (教会) に在籍。日本の大学からアメリカの大学に編入し、犯罪学を学ぶ。現在、カリフォルニア州にある移民弁護士事務所でのパライガルとして働いている。

こんにちは。日本の救世軍代表として、万国社会正義委員会女性グループに1年間参加し、経験したことを皆さんと共有できて嬉しいです。最初は、社会正義という言葉に対して漠然とした理解でしたが、知っていくうちに自分が学んできたことと通じるものがあるとわかり、もっと深く知りたいと思うようになりました。グループの学びでは、アフリカや西アジアなどの貧しい地域の代表者の話をよく聞きました。インターネットや電気といった、基本的なインフラが整っていない問題について聞くことで、普段何も考えずにいると忘れてしまうようなことを思い起こすきっかけになりました。また、社会の中で弱い立場として生きる女性や、そのような社会で障がいをもって生きる女性をサポートする人々がいるということを知る、とても良い機会でした。

あなたにとっての 社会正義は何ですか？

What does Social Justice mean to you?



※1 救世軍万国社会正義委員会って？

「万国社会正義委員会 (International Social Justice Commission)」は、世界の救世軍の本部にある専門部署です。世界各地の貧しい人々や虐げられた人々の人間としての尊厳を擁護するために、戦略的な活動を行っています。ニューヨークに拠点を置き、国連 (UN) の活動に正式に貢献しています。



社会正義って聞いて、
あなたは何を思い浮かべますか？
不平等、貧困、男女差別、虐待、人身取引.....

日本でも、世界でも、あちこちで社会の端に追いやられた子どもや女性や男性がいる。
心が痛むけれど、何をすればよいかわからない、何かしたところで世界は変わらない。
私にはそんな力もお金も地位もない。

そう感じるなら、私たちと一緒に「社会正義」について考えてみませんか。

私たちはみんなそれぞれの個性をもって、違う人生を送っています。
それぞれの置かれたところで何か小さな良いことができれば、それは、きっと、社会に重要なこと。
まずは、「知る」ことから始めませんか。

きずな献金 2024 香港プロジェクト

KIZUNA DONATION 2024 HONG KONG PROJECT



2024年10月の女性サンデー
献金先は、香港です。

わたしにできる、
海外支援



きずな献金って？
動画で解説



救世軍公式ウェブ
サイトからの献金

「きずな献金」は、救世軍女性部が行っている海外支援募金です。毎年、資金を必要としている国に、集められた献金を送金します。

2024年は、香港の救世軍にある児童養護施設グループホームのための献金です。グループホームに暮らす子どもたちの多くは、家庭内の様々な事情によってトラウマになるほどのつらい経験をしています。子どもたちが心を回復できるように、トラウマ・インフォームド・ケアに基づいた環境整備を行います。

休憩室や学習スペースを整えることで、リラククスしながら安全な環境で学習できるようにします。また、自分のスペースを自分で管理できるような設備を整え、自立心や自己肯定感を養います。

子どもたちがグループホームで安心して暮らしながら、神様の愛に触れ、心も体も回復することができるよう、どうかご支援をお願いいたします。

入金手数料がかかるため、「一円献金」から名称を変更しました。現在、大量の硬貨による献金をご遠慮いただいております。皆様のご理解とご協力を感じたいです。

発行日 2024年9月1日 はあもに第14号
定価 200円(税込・送料別) 年間3回発行
発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
TEL: 03-3237-0881

発行者 スティーブン・モリス
編集責任者 ウェンディ・モリス
編集者 西村和江 石川芳子 平本征子 齋藤恵子
田中民 (グラフィックデザイナー兼)
創立者 ウィリアム・ブース
大将 リンドン・バッキンガム

次号は2025年1月発行

『はあもに』定期購読のご案内

*売上の一部を「きずな献金」として海外支援に用います

定期購読料	1冊200円(税込・送料別) 年間3回(1月、5月、9月)発行 合計600円(税込・送料別)
-------	------------------------------------------------------

ぜひ定期購読をお近くの救世軍へお申し込みください

お問合せ

救世軍本営 女性部はあもに係 (QRコード右)
TEL: 03-3237-0881 (代) FAX: 03-3237-3588
E-mail: jpn-women.harmony@jpn.salvationarmy.org
Address: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17



聖書は新共同訳を使用しています ©共同訳聖書実行委員会 ©日本聖書協会
©本誌掲載の記事・写真・イラスト等の無断転載・使用を禁じます



救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会で、伝道活動とともに、様々な問題で苦しみ、助けを求めている人々のために、130以上の国で社会福祉・教育・医療などの支援を行っています。救世軍について詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp>

きずな献金2023 ミャンマープロジェクト
KIZUNA DONATION 2023 MYAMMAR PROJECT

ミャンマーから「ありがとう」が届きました。



日本の女性の皆さん

ミャンマーの人身取引対策プロジェクトにご支援くださり、ありがとうございました。

現在ミャンマーでは、銀行システムが不安定で送金が難しい状況ですが、シンガポールで無事に献金を受け取ることができました。電気が2時間しか使用できない場所も多くあり、食料の物価は急騰しています。貧しくて、3年も学校に通えていない子どもたちもいます。人身取引対策セミナーを開くために準備していますが、あちこちで抗争が起きていて、大人数で集まるのが難しい状況です。

カレイ地区とタム地区では、内戦から逃れるために自分の村を離れなくてはならない小隊(教会にあたる)のメンバーもいます。かと言って、どこか別の場所で暮らそうとしても、追加の家賃を支払う余裕などなく、結果として人身取引の危険にさらされます。

若者たちは、徴兵から逃れるために国から出ようとしています。救世軍の関係者の中でも、十代の若い男性と女性が徴兵されて、望まない戦いに巻き込まれています。最近、一人の若く美しい士官(伝道者)を爆弾によって失い、私たちは悲しみに暮れています。彼女の子どもたちと夫を思うと胸が張り裂ける思いです。彼らのために祈らない日はありません。

どうか、ミャンマーの人々が人身取引から守られるよう、お祈りください。

ステイシー・クロス大佐補
救世軍シンガポール・マレーシア・ミャンマー及びタイ軍国
女性部書記/リーダー育成部長/教育部長